

様式第2号（第8条関係）

会議の概要報告																															
1. 会議の名称	令和4年度 第1回 甲賀市青少年自然体験活動推進委員会																														
2. 開催日時	令和4年8月23日(火) 19時30分～21時00分																														
3. 開催場所	甲賀市甲南青少年活動センター 会議室																														
4. 議題	・令和4年度甲賀市青少年自然体験活動振興計画に基づく事業実施状況及び今後の事業実施について																														
5. 公開又は非公開の別	公開																														
6. 出席者	<p>《委員会委員》</p> <table border="0"> <tr> <td>ボーイスカウト</td> <td>団副委員長</td> <td>横川 正己</td> </tr> <tr> <td>甲賀市青少年育成市民会議</td> <td>会長</td> <td>前田 武広</td> </tr> <tr> <td>甲賀市PTA連絡協議会 水口支部</td> <td>副支部長</td> <td>中村 洋一</td> </tr> <tr> <td>日本ボーイスカウト滋賀連盟</td> <td>副理事長</td> <td>吉久 義則</td> </tr> <tr> <td>学校教育 大野小学校校長</td> <td></td> <td>山本 寛</td> </tr> <tr> <td>幼稚園・保育園 保育幼稚園課</td> <td></td> <td>野々山 弥生</td> </tr> </table> <p>《事務局》</p> <table border="0"> <tr> <td>教育委員会事務局</td> <td>次長</td> <td>田村 勝也</td> </tr> <tr> <td>教育委員会事務局社会教育スポーツ課</td> <td>課長</td> <td>三日月 利安</td> </tr> <tr> <td>教育委員会事務局社会教育スポーツ課</td> <td>係長</td> <td>神山 貴昭</td> </tr> <tr> <td>教育委員会事務局社会教育スポーツ課</td> <td>主査</td> <td>安田 尚孝</td> </tr> </table>	ボーイスカウト	団副委員長	横川 正己	甲賀市青少年育成市民会議	会長	前田 武広	甲賀市PTA連絡協議会 水口支部	副支部長	中村 洋一	日本ボーイスカウト滋賀連盟	副理事長	吉久 義則	学校教育 大野小学校校長		山本 寛	幼稚園・保育園 保育幼稚園課		野々山 弥生	教育委員会事務局	次長	田村 勝也	教育委員会事務局社会教育スポーツ課	課長	三日月 利安	教育委員会事務局社会教育スポーツ課	係長	神山 貴昭	教育委員会事務局社会教育スポーツ課	主査	安田 尚孝
ボーイスカウト	団副委員長	横川 正己																													
甲賀市青少年育成市民会議	会長	前田 武広																													
甲賀市PTA連絡協議会 水口支部	副支部長	中村 洋一																													
日本ボーイスカウト滋賀連盟	副理事長	吉久 義則																													
学校教育 大野小学校校長		山本 寛																													
幼稚園・保育園 保育幼稚園課		野々山 弥生																													
教育委員会事務局	次長	田村 勝也																													
教育委員会事務局社会教育スポーツ課	課長	三日月 利安																													
教育委員会事務局社会教育スポーツ課	係長	神山 貴昭																													
教育委員会事務局社会教育スポーツ課	主査	安田 尚孝																													
7. 傍聴者	0人																														
8. 会議資料	資料1 甲賀市青少年自然体験活動推進委員会委員名簿 資料2 甲賀市附属機関の会議の公開等に関する指針 資料3 甲賀市青少年自然体験活動推進委員会規則 資料4 甲賀市青少年自然体験活動振興計画 資料5 令和4年度青少年自然体験活動事業一覧表 参考 甲賀市青少年活動セミナー2022概要報告																														
9. 議事の結果概要	1. 令和4年度甲賀市青少年自然体験活動振興計画に基づく事業実施状況及び今後の事業実施について（甲賀市青少年活動セミナー2022概要報告含む） 事務局：資料により説明の後、意見交換																														
10. その他																															

「甲賀市青少年自然体験活動振興計画に基づく事業実施状況及び今後の事業実施について」意見交換

委員長 　ただ今、事務局の方から多岐にわたる事業項目についてご説明をいただいたところで、それでは、委員の皆さんからのご質問やご意見を伺いたいと思います。事業として一生懸命取り組んでくれているとは思いますが、私たちの仕事としては、きちんとそれに対して意見を言わないといけないので、会議の目的としては、最終はモデル都市を目指すためにどうして行ったらいいかということですので、そういう視点からご意見をいただいて、話し合いながら進めていきたいと思っています。

　まず、ご意見が出るまで私が口火を切って話したいと思います。説明の最初のほうにライフジャケットについての貸し出しを、今年から個人にも始められたと聞きましたが、個人に対しての貸し出しの実績はありましたか。

事務局 　個人への貸し出しについては、今年になって初めてですが、今現在1件貸出しがあったと聞いています。

委員長 　1件でも貸し出しがあったということですね。

事務局 　はい。
先日、森重さんの講演を聞いてライフジャケットの重要性をもっと市民に伝えたいと思い、もともと、団体にしか貸し出しできないという決まりもなかったので、今年から個人にも貸し出しできるようにしました。

委員 　今回は、市民会議の研修会という形で森重さんを招いて水辺の安全対策として、ライフジャケットの話をしてもらいました。今回は、コロナ禍でもあり、会場の都合で市民会議の関係者の方だけになってしまいましたが、できたら保護者の方々にも聞いてもらいたかったという思いはありました。コロナ前であれば学校で夏休みのプールもあったと思いますが、最近無くなってきている学校も多いので、やはりそういうことを考えると、どうしても海とか川とかに出かける方も結構多いと思うのです。

私は、鮎河出身で、うぐい川は毎週のように超満員状態で来ておられます。そういうのを見ていると、ライフジャケットを着ている子もおられますし、確かに浮袋を持っている方もおられますけれども、やはり何もなしで来られる方も多いです。そういうことを考えると、いくらうぐい川が浅いと言っても、毎年いろんなところで水難事故が発生していますので、どこでどのようなことが起こるかわからないので、やはり保護者の方々に夏休み前に研修のような形で森重さんの講演動画を見てもらう機会を作ったりする方が良いと思います。

事務局 　ありがとうございます。
今言っていたように、森重さんの動画を安全教育の一環として学校等にも貸し出せるような形をとってまいります。

委員

今までは、学校のプールが始まる前に保護者へ救命救急の講習を消防署の人に来てもらって、やっておられましたが、最近プールも無くなってきましたし、コロナの関係もありますので、個人で出かける方が大半だと思います。そういうことを考えるとどこでどのようなことが起こるかわからないですし、いざというときのためにも情報は知っておいてもらったらいいのかなと思います。昨年、甲賀市で子どもが亡くなったという事故もありましたので。そういう子どもたちがたくさん集まるような場所に、「ライフジャケットを着用しましょうとか。」注意看板的なものを設置するなど対策を取ってみてはと思います。例えば、森重さんが作っておられる缶バッチの絵を使用しても良いかなと思います。そういうもので事故を未然に防ぐためにも、私自身としては、立て看板の設置が良いのではと思います。

委員

今言っていた事と関係して、夏の遊びというのは年度が始まってすぐに来てしまいます。実際、事前に研修や啓発をするためには、年度ごとに計画を立てていたのでは間に合わない。啓発として子どもや保護者に周知するためには、タイミングを見てその時にしなければいけないと思う。そのためには、森重さんの講演動画をあいコムに協力してもらいテレビで流してもらえれば、夏休みの前のタイミングで見てもらえるのでは。そういう工夫をしてみたら良いと思いますが。

あと、話は変わりますが市の管理しているキャンプ場についての状況はどうなっていますか。昔は、あちこちにあったような気がします。今はキャンプブームなので、キャンプができる場所があったら何も言わなくても勝手に来てもらえると思う。市としてキャンプ場を整備しなおすのはどうですか。

事務局

現在、スポーツの森の再整備計画を担当課の方で作っています。今のスポーツの森は、スポーツ施設と余暇施設があり、陸上競技場とサッカー場のあるスポーツ施設の方は充実しているが、以前あったフィールドアスレチックやゴーカートのような余暇施設、そしてプールも老朽化で止まっている状況で、余暇を楽しむ施設というのがなくなっている状況です。

キャンプ場についても、どちらかというところそういうジャンルの方に今入ってしまっていて、キャンプ場の施設はあるものの、ロッジについても老朽化して一般的には使用できない状態となっていますので、そういうところを再整備していこうということで、どちらかというところ余暇施設の方を重点的に組み直す形で再整備計画を考えてもらっています。その中には、キャンプ場の受け入れの計画も考えてもらっていますし、プールをどうするかということもありますが、水に親しむような施設も必要かなと思っております。

その中でキャンプ場というのは、昨今のコロナの状況の中でも再ブームというのがあり現状よりもできるだけ拡張していくことも含めて絵を描いていただいております。それ以外の場所では今のところそういう計画は聞いておりません。

委員

昔のスポーツの森ができた時を知っているから、今の残っているキャンプ場の面積は半分以下になっていると思う。もっと広がったというイメージしかない。今のキャンプ場ではテントサイトというところ5か所くらいしか張れない。もっと昔のように広いキャンプ場にしたいので別に違う場所でも良いのだが、整備してもらえるなら広く使いやすいキャンプ場にしたい。

委員長 あえて委員会として言わせてもらうとしたら、これからのキャンプはもっともっと研究しないといけないと思う。私らボーイスカウトでやっていることでも、もう古くなっている部分もある。誰が主体で個人でやるのか、また団体でやるのか。もう一度性質をしっかりと捉えてみて、仕切りなおして基本的な方向性を定める必要があると思う。そこは教育という視点でキャンプを捉えるという教育委員会としての使命を発揮していただいて、方向性に対する主導権は教育委員会がとっていただけたらなという風に思っています。公園担当が整備するとなると教育面がちょっと弱くなってしまいますので、そこは担当課と調整をとってもらい良いキャンプ場となるようお願いしたいと思います。

委員 皆さんもご存じかと思いますが、土山町大河原のかもしか荘がグランドキャンプ場をされていますけれども、もう予約が取れない状況と聞いています。また、日野の方でもキャンプ場をされておられますが、入り口近くの駐車場はお盆の時期などは満杯です。その社長に聞いた話ですが、今年使用されて帰る際には来年の分も予約して帰られるという話です。青土のエコバレイの上にもバンガローがあって、そこも以前は予約が取れなかったという話でしたが、今は日野に取られているのかなと思います。車が横付けできてオートキャンプができれば荷物を運ばなくてもいいですし、同じキャンプ場をするならば、そういう方向も良いのかなと思います。

委員長 今の時代キャンプが多様化してきていることは明らかだと思います。PTA組織として何かご意見はありますか。

委員 個人的な意見になりますが、私自身、キャンプを趣味でしています。毎年、10回ぐらいは、子どもを連れて行っていますが、先ほど言われたようにオートキャンプ場を予約して行くのですが、予約が全く取れない。夜中でも寝ないで予約を電話やインターネットで取っている状況です。今は荷物を運んでその場所まで行くのは正直つらい、特に夏場はきつい。やはりオートキャンプ場の需要はここ2年くらい予約が取れにくいです。僕は4、5年やっていますが、ここ2、3年はすごいです。

委員 ここ数年でキャンプする時期が変わってきている。昔のキャンプは夏のイメージだったが、今は一年中やられている。私らのキャンプは、冬の方がいいんです。空気が澄んでいて、気持ちがいいんです。暖かくするには火さえ焚いたら暖かくなる。暑いのは我慢できない。寒いのは我慢できる。

事務局 今回のキャンプスタイルは2つあり、オートキャンプ場で横付けできるタイプと、先ほど委員長が言っていた教育を取り入れたキャンプ場があります。私はどちらかというと昔、信楽に教育キャンプ場が県の施設でありまして、そこはもう、本当に何も無い所でした。水道も来てなくて、井戸を水質検査してポンプアップして使っていたようなところで、何もないような所でキャンプをするということで教育的な目的があるという取り組みが当時されていたのですけれども、今、スポーツの森で求められるキャンプ場のイメージはどのようなものですか。

委員長 例え教育キャンプというのは、昔、学校から飯盒炊飯ですよと言って連れて行ってくれたイメージを教育キャンプと捉えていましたが、今後はそういうイメージを変えていけないといけないと思う。今の状況について先生にもお聞きしたいのですが、学校として教育としてのキャンプ事業というのは、実際行われていますか。

委員 コロナの前でしたら、学校が行事として企画して、PTAの参加を募って学校の体育館やグラウンドでテントを張って飯盒炊飯をしていたところがありました。それを行事として取り組むのかというところは精査する必要は私個人の意見としてはありますが、子どもたちにとっては大変有意義な活動ではあるけれども、全員を呼んで取り組むかどうかは教員の中にも疑問を持っている者もいます。土山小学校や大野小学校も最近までキャンプをしていましたが、最近はコロナ影響で止められています。それを復活するならばそれなりのものを全部用意しないといけないが実施すれば有意義なものになると思います。まず実施するならば昼の飯盒炊飯から徐々に発展していく形をとっていくのが良いかなと思います。

委員長 その前段階の保育園・幼稚園などでは自然に触れ合うところから入っていくのがいいかと思いますが、それも年齢に応じて進められていると思いますが、その辺の現状はどうでしょうか。

委員 保育園・幼稚園の近くには沢山の自然もありますし、基本外遊びは、園庭で遊ぶこともあれば、近くの山、近くの田んぼとかあぜ道を歩いたり、本当に自然の中で遊ばせてもらう機会はすごく沢山あります。また、甲南青少年研修センターの職員に来ていただいて自然の中で一緒に散歩に出かけて、木を触ってここに何がいるのか、草を触ってチクチクするものとか、ふわふわするものを探してみようだとか、どんな匂いがするのかなど、本当に自然の中で感じられることを一緒に教えてもらったりしているところです。子どもたちは、自然の中でいろんなものを発見したり、気づいたりして学ぶことが沢山ありますし、これをしたら危ないとか、ここまでやりすぎるとこけてしまったとか、こういう時はこうしていくといいな、というのを体で感じてくれている。頭ではなくてまずは経験して体験してくれているところも保育園・幼稚園では大事にしていきたいと思っています。

事務局 今、説明いただいたように、保育園や幼稚園の園外散歩には、甲南青少年研修センターの職員を派遣しており季節に応じて気づくことや、注意することなど教えているが、今後からは、例えば夏場のシーズンが近くなれば水辺の安全教育を取り入れながら、幅広く指導するよう進めていきたい。

委員長 一つ聞きたいのですが、市では規模は小さいけれど募集してキャンプをやっているが、現実的に夢の学習や地域総合型スポーツクラブなど普段から活動しているところが教育的なキャンプを実施することは可能であるか。

- 事務局 そのスタートとして今年初めて、市の青年リーダーと夢の学習の指導員と一緒に合同研修会を開催し、その後実際に、市のキャンプ事業で指導者の立場として参加いただきました。また、夢の学習は本年11月に初めて、小学生やその保護者を対象に自然体験活動を自己開催される予定です。その時には、市の青年リーダーも派遣する予定です。そうやって地域団体が主体となって自然体験活動を安全安心で実施していただければと思っています。今後市としましては、青年リーダーや地域の指導者を育成し、市内のあちこちで自然体験活動を実施していただけるよう取り組んでいきたいと考えています。
- 委員長 公民館事業を実施しているスタッフさんは高齢の方が多くのように思いますが。また実際に現場で指導できるのは、青年リーダーは別にして、後は本当に集まるのかなという不安もある。そのあたりはどうですか。
- 事務局 青年リーダーも例外ではありません。昨年のコロナ禍であれば学校や部活が制限され、市のキャンプ事業に参加してくれるリーダーも多かったが、今年度に入り、学校も正常化に戻りつつある今は、なかなか事業に参加いただけない現状があります。この間のセミナーで今井先生が言っておられましたが、研修会などは、現場に来なくても ZOOM で繋いだりしていろんな形で料理やゲームをやったりだとか、どこに居ても学べるような環境を整備しておけば、研修会に参加できなくても知識は共有できると教えていただいた。スタッフの高齢化についてはどこでも同じだと思います。その中でも現在はキャンプブームでもあるので、少しでも自然体験活動の楽しさを伝え若い方へ興味を持ってもらえるよう、まずはニーズの高い親子キャンプを重点的に取り組んでいます。
- 委員長 ボーイスカウトで今年の夏にコロナでありながらも滋賀県で5泊6日で大会を実施しました。ボーイスカウトでは、一般の人に自然体験をしてもらおうという動きがあって、こういうイベントをするので参加しませんかということを数年前からやり始めている。
- 委員 ボーイスカウトの組織そのものが活動のアピールをしながら人を募り、一般の人に体験してもらい面白かったとってもらえるような取り組みをしている。こういうイベントの情報が流れてきたら、それを探している人たちは結構おられます。
- 委員長 ボーイスカウトも市の事業として繋がっていったらと思うのですが。
- 事務局 それは市としてもありがたいです。また機会があればお願いします。
- 委員長 それでは、他に何かご意見ご質問等ございませんか。先ほど事務局から話がありました水ロススポーツの森の整備計画が非常に気になるので、何か情報があればよろしく願いいたします。

事務局

キャンプ場の整備でご相談させていただける場面があれば、また適宜お話させていただければと思いますのでよろしくお願いたします。

委員長

他よろしいでしょうか。それでは、議事の進行を事務局へお返しします。